

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 26 年 2 月 6 日 (2014.2.6)

【公開番号】特開 2011-173411 (P2011-173411A)

【公開日】平成 23 年 9 月 8 日 (2011.9.8)

【年通号数】公開・登録公報 2011-036

【出願番号】特願 2010-277324 (P2010-277324)

【国際特許分類】

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 M 5/50 (2006.01)

B 4 1 M 5/52 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 M 5/00 B

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 12 月 13 日 (2013.12.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

支持体と、該支持体の第一面側及び第一面側と該支持体を挟んで反対側の第二面側に、各々 2 層以上のインク受容層を有する記録媒体であって、

該第一面側及び該第二面側に各々設けられたインク受容層が何れも顔料及びバインダーを含有し、

該第一面側における最外層のインク受容層の、細孔分布曲線においてピークを与える細孔半径  $A_1$  (nm)、最外層のインク受容層に隣接したインク受容層の、細孔分布曲線においてピークを与える細孔半径  $A_2$  (nm)、該第二面側における最外層のインク受容層の、細孔分布曲線においてピークを与える細孔半径  $B_1$  (nm)、最外層のインク受容層に隣接したインク受容層の、細孔分布曲線においてピークを与える細孔半径  $B_2$  (nm) が (1)  $A_1 > A_2$ 、(2)  $B_1 > B_2$  及び (3)  $|A_1 - B_1| \geq 1.0$  を満たし、

該第一面側の最外層のインク受容層の J I S B 0 6 0 1 で規定される算術平均粗さ  $R_a$  が  $0.50 \mu m$  以上であり、且つ、該第二面側の最外層のインク受容層の J I S B 0 6 0 1 で規定される算術平均粗さ  $R_a$  が  $0.50 \mu m$  以上である

ことを特徴とする記録媒体。

【請求項 2】

前記  $A_1$ 、前記  $A_2$ 、前記  $B_1$ 、前記  $B_2$  が (4)  $A_1 - A_2 > 2.0$  及び (5)  $B_1 - B_2 > 2.0$  を満たす請求項 1 に記載の記録媒体。

【請求項 3】

前記第一面側の最外層のインク受容層の J I S B 0 6 0 1 で規定される算術平均粗さ  $R_a$  が  $0.70 \mu m$  以上であり、且つ、前記第二面側の最外層のインク受容層の J I S B 0 6 0 1 で規定される算術平均粗さ  $R_a$  が  $0.70 \mu m$  以上である請求項 1 または 2 に記載の記録媒体。

【請求項 4】

前記第一面側の最外層のインク受容層の塗工量が  $10.0 g/m^2$  以下であり、且つ、

前記第二面側の最外層のインク受容層の塗工量が  $10.0 \text{ g/m}^2$  以下である請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の記録媒体。

【請求項 5】

前記顔料がアルミナ水和物である請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の記録媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記課題は、以下の本発明によって解決される。即ち本発明は、支持体と、該支持体の第一面側及び第一面側と該支持体を挟んで反対側の第二面側に、各々 2 層以上のインク受容層を有する記録媒体であって、該第一面側及び該第二面側に各々設けられたインク受容層が何れも顔料及びバインダーを含有し、該第一面側における最外層のインク受容層の、細孔分布曲線においてピークを与える細孔半径  $A_1 \text{ (nm)}$ 、最外層のインク受容層に隣接したインク受容層の、細孔分布曲線においてピークを与える細孔半径  $A_2 \text{ (nm)}$ 、該第二面側における最外層のインク受容層の、細孔分布曲線においてピークを与える細孔半径  $B_1 \text{ (nm)}$ 、最外層のインク受容層に隣接したインク受容層の、細孔分布曲線においてピークを与える細孔半径  $B_2 \text{ (nm)}$  が (1)  $A_1 > A_2$ 、(2)  $B_1 > B_2$  及び (3)  $|A_1 - B_1| \leq 1.0$  を満たし、該第一面側の最外層のインク受容層の JIS B 0601 で規定される算術平均粗さ  $R_a$  が  $0.50 \mu\text{m}$  以上であり、且つ、該第二面側の最外層のインク受容層の JIS B 0601 で規定される算術平均粗さ  $R_a$  が  $0.50 \mu\text{m}$  以上であることを特徴とする記録媒体である。